

# 伊予高校 図書館だより Library News

令和5年度  
10月  
文化祭②

文化祭の図書委員会の企画『新任の先生お勧めの本』を図書館だよりでもご紹介します。全校集会『ブックトーク』で図書委員が紹介の図書を、図書館に展示します。



キモイけど実はイイヤツなんです  
ろろ 著  
KADOKAWA

兵頭 先生 (理科)

見た目がへんな生き物が大集合！きもくて怖いのになぜか愛おしくなる生き物がいっぱい載っています。気持ち悪い見た目に、思わず引いてしまいがちですが、それぞれの生き物にじっくり目を向けると、すごい能力や一面を持っていることがわかります。ユニークな珍しい生き物を、難しい専門用語を使わずに解説しているので、子どもから生き物の雑学を得たい大人の方まで、広くオススメ出来る一冊です！^-^



人類冬眠計画 生死のはざまに踏み込む  
砂川玄志郎 著  
岩波科学ライブラリー

榎 先生 (理科)

冬眠と聞いて思い浮かぶのは『眠れる森の美女』である。人工冬眠技術が完成すれば、多くの可能性がひらける。医師でもある著者は、冬眠を誘導できれば患者の死が近くなった状態でも、本格的な治療が始まるまでの時間を稼ぐことができると考えた。著者らは本来冬眠しないハツカネズミの脳を冬眠状態に誘導できるという研究成果を発表した。人間を冬眠させられる可能性が見えてきたことになる。冬眠が普及する時代は来るだろうか。



Newton 別冊 周期表  
ニュートンプレス 編著

柳田 先生 (理科)

私たちの体って、何からできていると思いますか？人体をどんどん拡大していくと、最終的には原子という小さな粒になります。人間をはじめ、自然界のあらゆるものは、原子の集合体です。そしてその原子は138億年の宇宙の歴史の中で星が爆発したときに、宇宙に飛び散りました。だから、私たちの体は、「星のかけら」からできていると考えられます。理科って面白い！皆さんに少しでもそう思ってもらいたくて、この本を紹介します。



三千円の使い方  
原田ひ香 著  
中央公論新社

井上 先生 (芸術)

『人は三千円の使い方人生が決まるよ』という言葉から始まるこの小説。三千円で買うもの、選ぶものなど、三千円を使っていることが、結局人生を形作っていくという意味だ。お金の使い方にも個性があり、自分の使い方ですら幸せになれるのであれば、正しい使い方だと言えると思う。自分で自分を認めてあげる大切さを学んだ。

そして第1話に出てくる『8×12』という計算式。何の計算式か、読んで確かめよう。



読むだけで 運がよくなる77の方法  
リチャード・カールソン 著  
王様文庫

山口 先生 (英語)

気分が少し落ち込んでいる時、ちょっとしんどいなあと思った時に、気軽に手に取れる本です。見開き1ページで運がよくなる77の方法が紹介されています。全てを実践する必要はありません。気になったところを、1つでもいいのでやってみてください。私は、心配性でマイナス思考なところがありますが、この本を読むと少し心が軽くなって前向きになります。やさしい言葉で書かれてあるので、スッと心に入りますよ。



ミシンで着物 綿・麻・ゆかた  
やまもとゆみ 著  
グラフィック社

池松 先生 (家庭科)

本を開くとまるで写真集。おしゃれなモデルさんが個性的に着物を着こなしています。衿・帯・足袋・草履…小物も形も昔と変わらないのに、色や柄、組み合わせによって何通りもの着こなしが楽しめ、日常的に着ることがなくなった着物を身近に感じることができます。着物を目で見て楽しみ、ミシンで縫え、着付けができるようになる一冊です。運動会では、自分で作った浴衣を手作りの小物とともに自分で着付けて伊予の踊りを踊りませんか。



Chat GPT 対話型AIが生み出す未来  
古川渉一 著 酒井麻里子 著  
インプレス

上岡 先生 (情報)

Chat GPTなどの生成AIの基礎的な知識から、今後、生活やビジネスにおいてどのように活用されていくのか、そして生成AIを活用する際の注意点まで、会話形式でわかりやすく紹介されています。

生成AIの技術は近年著しく発展しています。近い将来、AIはもっと身近なものになるでしょう。今こそ基礎知識を得ておき、技術の進歩に合わせて自分の知識をアップデートすることが大切ではないでしょうか。